



2020年10月7日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 神尾 啓 治
 社長 執行 役員
 (コード番号：8198 東証第二部)
 問合せ先 取締役 兼 執行役員 高橋 誠
 経営管理本部長
 (TEL. 053-421-7000)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年4月10日に公表しました2021年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

2021年2月期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	336,000	8,400	8,200	3,250	89円51銭
今回修正予想(B)	346,000	10,000	9,800	4,300	118円44銭
増減額(B-A)	10,000	1,600	1,600	1,050	
増減率(%)	3.0	19.0	19.5	32.3	
(ご参考) 前期通期実績 (2020年2月期)	271,517	7,150	6,955	2,937	108円61銭

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の国内事業においては、「基本の徹底」を継続するとともに、コロナ禍における「内食」「個食」需要の高まりや、根強い節約志向への対応に取り組んだ結果、既存店売上高前期比は108.1%となり当初計画を上回りました。販売費及び一般管理費は、営業総利益高の伸び率以下に抑制したことより、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,794億43百万円(前年同期比72.9%増)、営業利益62億52百万円(同178.3%増)、経常利益61億84百万円(同200.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益35億13百万円(同249.7%増)となりました。第3四半期以降の経営環境は新型コロナウイルス感染症影響により経済活動の停滞や消費マインドの低迷が生じるとの想定のもと、既存店売上高は前期並みで推移することを前提に、第2四半期連結累計期間の業績結果を踏まえ、2021年2月期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上